

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 18 日 ( 13:00 ~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	3 人	0 人	10 人

前回の改善計画	継続して、記録 (SOAP) の「A」を記録する際は利用者の立場に立った視点での考察を入れる 利用開始時直後のミーティングにて話し合いを行い、情報の共有を行う
前回の改善計画に対する取組み結果	送迎時のご家族様に利用者様本人と家族との自宅での様子をお聞きし、利用開始時には事前情報が出され、 情報交換し、利用開始前にはミーティングの共有を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	7	2	0	10
②	ミーティングにおいて、かかわりの初期の目標を共有できていますか?	0	8	2	0	10
③	利用者がまだなれていない時期に、訪問や通いで、声掛けや気遣いができていますか?	1	9	0	0	10
④	初期の目標を念頭においたケアができていますか?	1	7	2	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ミーティングにて話し合いの場が作れ、情報を共有して対応に当たっている。 利用者各々の部分的ではあるが、特徴・性格に合った関りを心がけ、慣れていない利用者に対しての不安な気持ちに寄り添うよう心掛けている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の言動に対し、利用時に本人や家族の不安や要求等、利用者の気持ちに添った声掛けが出来ているか不安がある。 本人の立場に立った視点から、思いやニーズを理解しているか、家族の思いやニーズをくみ取れていると言いきれない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ①記録の際は、利用者のニーズや目標・ご家族の思いに添った視点での考察をかく。 ②情報の共有を行うため、出勤時にはすべての利用者の経過録に目を通す。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 18 日 (13:00~14:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	3 人	0 人	10 人

前回の改善計画  
個別活動において、利用者さんが自らしたいものを選択でき、取りに行けるような環境を整える。

前回の改善計画に対する取組み結果  
個別活動時にその都度何がしたいか聞き、フロア内の各場所から道具が取りに行けている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	7	3	0	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	6	4	0	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	6	0	10
④	実践した (かかった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	5	1	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
本人の気持ちを大切に、「どうする?」と本人が選択できる声掛けが増えた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
利用者の目標を具体的に把握できておらず、目先の“したい”に対応するだけで利用者本人の『なりたい自分』を意識した関りが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
経過録の表紙にある、『あなたの目標 5 年後どのような姿で暮らしたいか』を、利用者がよりイメージしやすい『3 年度どのような姿で暮らしたいか』に変更し、再度、本人と話をし書き直す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 1 年 11 月 18 日 (13:00~14:00)
------------------	-----	--------------------------------

3. 日常生活の支援	メンバー	9 名
------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	6 人	0 人	10 人

前回の改善計画	引き続き記録は SOAP に基づき行う。又、記録 (SOAP) の「A」を記載する時には利用者の立場に立った視点での考察を入れる ケースファイル内にファイリングしているエコマップにその人の「これまでの暮らし」や「習慣」「馴染み」等を追記する
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者のこれまでの暮らしや生活習慣を言語に出来ていない事から、新たな利用者の気持ちの変化や体調の不調に気づきにくい。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	0	9	1	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	8	1	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	1	8	1	10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	8	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	8	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者の体調の変化や対応に対して、チームで情報を共有し対応はできている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の気持ちの変化や思いを個人的に解決しようとしてしまい、チームでの必要性、協力性の話し合いが出来ていない。 エコマップの記入が進んでいない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ①行事を通じて利用者が発した「これまでの暮らし」、「習慣」、「馴染み」などの情報を、行事報告書に書く。 ②各担当者は、行事報告書の情報を随時、アセスメントシート (エコマップを含む) に記入していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 1 年 11 月 18 日 (13 : 00~14 : 00)
------------------	-----	------------------------------------

4. 地域での暮らしの支援	メンバー	9 名
---------------	------	-----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	7 人	0 人	10 人

前回の改善計画	今後もエコマップの随時記載を継続し、「つながり」や「地域資源」の把握を行うエコマップにその人の「これまでの暮らし」や「習慣」「馴染み」等を追記する広報『のみ』や回覧板等による地域の情報収集を継続して行う
前回の改善計画に対する取組み結果	地域の情報収集を行い公民館の文化祭、季節の地域の祭りへの参加が出来ていた。利用者様の暮らし、地域の民生委員の方の協力を得て、朝ゴミ出しが出来ない利用者様が出来るようになった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	5	5	0	10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	2	0	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	6	0	10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	7	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>本人や家族に話しを聞き取りし、どのような支援が必要かを常に考えている。          全体の利用者ではなく 2~3 人程度の背景を少しではあるが情報を得ている。          『のみ』や回覧板等による地域の情報収集は必ず目を通してしている。          本人が今まで培ってきた関りや習慣を維持できるよう支援している為。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所が直接接していない時間に本人がどのように過ごしているのか把握できていない。</li> <li>・事業所内 (通い) で過ごしている時間のみ着目した関り・支援になりがちな現場の傾向を修正できていない。</li> <li>・ひまわりだけの関りでは本人の暮らしは成り立たず、本人の周りにある環境や馴染みの関係あってこそ、本人らしく生活できるのだという根本的な考えが薄れていたからだと思う。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>①広報『のみ』や回覧板等による地域の情報収集を継続して行う。          ②行事を通じて利用者が発信した情報 (昔の生活・習慣・好み・馴染み) などを行事報告書に記載し、担当者が随時アセスメントシート (エコマップを含む) に追記する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 18 日 (13 : 00~14 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	5 人	3 人	0 人	10 人

前回の改善計画
引き続き記録は SOAP に基づき行う。又、記録 (SOAP) の「A」を記載する時には利用者の立場に立った視点での考察を入れる 記録に目を通した際に、自分が疑問に思ったことは必ず確認するようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
記録 (SOAP) の「A」の部分について、利用者の立場に立った視点での考察という部分がまだ十分に出来ていない。記録などで疑問に思ったことについてはスタッフそれぞれが意識して情報収集している。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	6	4	0	10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	8	0	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	5	4	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	5	3	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	日々の利用者の状態を把握し、疑問があればスタッフ間で確認・相談・情報共有を行っている。また利用者や家族のニーズに応じて、通い時間・訪問対応・泊まり等を検討し臨機応変な対応を提供できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者の立場に立った「A」がまだ十分に出来ておらず、スタッフ側の視点になる事がある。 本人の状態などの情報を共有するのみになっていて、そこから次の支援につながっていない場合がある。 地域の資源を十分に有効活用出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	①毎月の行事時に利用者が発信する情報を収集し、行事報告書に記載する。その後、各担当者がアセスメントシートに (エコマップを含む) に追記する。 ②職員は『広報のみ』を毎月閲覧し、地域資源の情報を得る。そこで催し物の開催情報から、毎月の行事とは別に利用者の趣味に合わせた外出支援を提供していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 1年 11月 18日 (13:00~14:00)
------------------	-----	-----------------------------

6. 連携・協働	メンバー	9名
----------	------	----

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	0人	10人

前回の改善計画	運営推進会議の議事録はきちんと回覧し全員が必ず目を通すようにする 勤務の調整にて現場スタッフが運営推進会議へ参加出来るようにする
前回の改善計画に対する取組み結果	運営推進会議には必ず現場スタッフが参加出来るようにはなったが、議事録に関しては認識が薄く、全員が目を通していない現状がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	4	4	2	10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	3	4	3	10
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	5	2	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	4	3	3	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 運営推進会議に参加できるように業務調整しているため、現場スタッフも会議には参加出来ている。 ボランティアによるクラブ活動や中学生の職場体験、総合学習による慰問が継続できている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること その他のサービス機関との会議には、どのような種類のものがあるかも分からない程、認識が薄く、会議録にも目を通していない。管理者やケアマネジャーに一任してしまっている部分も多く、現場スタッフが外部へ出る機会が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ①担当者会議には現場スタッフも参加出来るように調整する。 ②会議録に目を通しやすいようにキッチンの方へ持って行き、スタッフ全員が必ず目を通すようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 18 日 (13 : 00~14 : 00)

7. 運営

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	3 人	6 人	0 人	10 人

前回の改善計画
運営推進会議の議事録はきちんと回覧し全員が必ず目を通すようにする 勤務の調整にて現場スタッフが運営推進会議へ参加出来るようにする 引き続き、ミーティングの議題には必ず1つ「ひまわり全体が良くなるために」という提案を入れ、話し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティングの議題に『ひまわり全体が良くなるために』の提案が上がってこなかった。 ・議事録を読む意識が低かった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	4	6	0	10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	0	10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3	0	10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	3	6	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・意見や苦情があればスタッフ間で話し合い、改善に取り組んでいる。クレームにつながらないようにしている。 ・運営推進会議に参加できなくても議事録に目を通していているスタッフもいる。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ミーティング時に主体的な『良くなるための提案』を引き出せていない。 ・運営推進会議の議事録に全員が目を通していない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	①ミーティング時、司会担当者は、全員が一言は意見を述べるよう進行する。 ②運営推進会議の議事録は、全スタッフが目を通しやすくするため、キッチン横の棚に入れる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 18 日 (13 : 00~14 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画  
インシデント事案や、ちょっと気になった事、気づいた事があれば、サービス記録用紙の特記欄に記載し情報の共有を図るとともに、ミーティングにて再確認をする。

前回の改善計画に対する取組み結果  
インシデント事案や、ちょっと気になった事、気づいた事はスタッフ間で話し合いを行えている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	8	1	0	10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	4	2	2	10
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	3	2	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	10	0	0	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ハプニング報告書は、対策等スタッフ間で話し合っ共有し、ミーティングでも再確認し、2 か月後の評価も行っている。  
インシデント事案や、ちょっと気になった事、気づいた事は直ぐにスタッフ間で話し合っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
インシデント事案やちょっと気になった事、気づいた事は直ぐスタッフ間で話し合う事が出来ているが、その内容をサービス記録用紙の特記欄に記載し、情報の共有をする事が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
ミーティングの議題に取り上げて、サービス記録用紙の有効な活用方法を検討し、情報共有のやり方を明確にする。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 1 年 11 月 18 日 (13 : 00~14 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	2 人	0 人	10 人

前回の改善計画
フロア内での情報交換ややり取りの際は、その日のリーダーを中心に簡潔に行う 引き続き、記録は SOAP に基づき行い、記録 (SOAP) の「A」を記載する時には利用者の立場に立った視点での考察を入れる
前回の改善計画に対する取組み結果
フロア内での情報交換や、やり取りの際はその日のリーダーを中心に簡潔に出来ている。記録 (SOAP) の「A」の部分の記載について十分に記載出来ていない。利用者の思いに関する部分が十分に言語化出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	2	0	0	10
②	虐待は行われていない	6	4	0	0	10
③	プライバシーが守られている	4	5	1	0	10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	5	1	0	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	7	1	0	10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	身体拘束はもちろん、スピーチロックなどについても気を付けている。また、委員会も設置しそれぞれの事業所で研修も行っている。利用者の訴えがある際には柔軟に対応出来ている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	フロア内での申し送りや情報を伝達する場面が多く、利用者に聞こえている可能性がある。書類が置きっぱなしになっており、プライバシーが守られていない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	記録の記入時に利用者の対応や急な別な対応が必要となった場合は、記録用紙を所定場所に片付ける。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 きだ整形外科クリニック	代表者	木田泰弘	法人・ 事業所 の特徴	住み慣れた地域の中で自宅での自分らしい生活が送れるよう、心身の状況や置かれている環境等を踏まえ「通い」「訪問」「泊り」のサービスを組み合わせながら支援をしています。在宅での生活を継続するために利用者や家族の「小さな困りごと」に着目しながら支援させていただいています。手を出しすぎることがないように利用者一人一人のできること・持っている力を大切にし、利用者自らが様々な場面で力を発揮できるような環境づくりを行っています。通いの定員が9名と少人数であるため常にアットホームな雰囲気があり、人見知りをしやすい方もなじみやすく安心して過ごせる空間になっています。
事業所名	ケアミックスひまわり	管理者	福岡紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	1人	人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	3カ月に一度ミーティングにて改善計画に対する再確認（中間評価）を行う。	エコマップの追加記入があまりできなかった。	エコマップとは記入することが難しいものですか？ 経過記録に情報を記載しても、毎日の様子の記録に紛れてしまう。	行事等の場面を通じて、利用者の会話から「昔からの馴染み」や「関り」について引き出し、行事報告書に記入する。
B. 事業所のしつらえ・環境	玄関の窓ふき、掃除は継続して行う。 玄関のプランターに花を植える	玄関の窓ふき、掃除は継続して行っている。 玄関のプランターに花を植えた。今後も植えていく予定。	鍵はかかっている様子ですね。 玄関にチャイムを付けたのですね。チャイムは聞こえていますか？職員の方はフロアに居てもわかるのですね。	1日に1回、利用者と一緒に玄関の掃き掃除、窓ふきを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	体力測定等、地域の方にも参加して頂けるような行事は、公民館にチラシを配りお知らせする。	地域密着型事業所で行っていた「認知症カフェ」については、公民館にチラシを配りお知らせした。	地域の方に事業所自体が知られているかというところから。 いきいきサロンで「認知症についての講師に来てくれたらいいのに…転倒や物忘れの予防など生活の中で役に立つことを教えてもらえると嬉しい。が、年齢によってアプローチの仕方等で難しい面もあるかも。	「広報のみ」に目を通し、事業所がある地域だけでなく他の地域の情報も収集し、利用者との会話につなげる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	継続してエコマップにつながりを2つ以上追記できるよう情報収集する。 本人とのやり取りだけでなく送迎時等に家族とも話し情報収集に努める。 介護計画書更新時は必ず再確認する	エコマップの追加記入があまりできなかった	認知症カフェは「来てください」と言っても来てくれない。地域の方は認知症の方を誤解している。もっと地域に出て認知症の方を支えていくための話をしてほしい。 若い方は比較的大らかに認知症の方を見ることが出来るが、年配の方は自分の身に訪れる可能性が高いからか「認知症」を拒絶するのでは。	日常や行事での会話から得た「昔からの馴染みや習慣」を行事報告書に記入する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	体力測定等、地域の方にも参加して頂けるような行事は、公民館にチラシを配りお知らせする。現場スタッフも会議に参加し意見を述べる。（スタッフ参加できるように勤務調整する）	認知症カフェについては公民館にチラシを配りお知らせした。 運営推進会議にもできるだけ現場職員が参加し活動報告等を行った。	運営推進会議に、現場職員の方も参加していますね。	今後も運営推進会議に現場スタッフも参加していく。
F. 事業所の防災・災害対策	備蓄品の管理、補充は継続して確認を行っていく。 地域の防災訓練にスタッフも参加する様調整を行う。	法人内の委員会を通じて、備蓄品の管理・補充を行っている。 町会の防災訓練に職員も参加した。また、地域密着型事業所合同の水害想定避難訓練では地域の方の協力があった。	災害時には、地域の高齢者に対する対応力等で日頃のケアが活かされるかも。 お年寄りへの声かけが分からず会話が難しいが、具体的な場面を見ることで勉強になるかもしれない。	今後も地域の防災訓練に継続して参加していく。また、備蓄品の管理や補充継続的にしていく。